

平成22年

元気っ子

No154 ながさわ保育園

6月



ミズバショウ

園長 市川温予

* 保育参加・講演会・給食試食

5月21日の保育参加、講演会、給食試食にはたくさんのお母さん、お父さん、おばあちゃんに参加をしていただきました。

0、1歳児はお部屋で遊んでいる様子を、2歳児は朝のお集まりやコーナーでの遊び、3、4、5歳児は、6月5日にある「おじいちゃん、おばあちゃんとのミニ運動会」のプログラム作りを親子で製作してもらいました。少しの時間でしたが、親子でじっくりと向き合っ一緒に過ごしていただきよかったですと思いました。

プログラム作りは、本当にどれも素敵でお母さん方の創意工夫はすごいなと思いました。私も一つひとつ見せてもらいましたが、どれも世界にたった一つしかない手作りのプログラムで見ていて温かさを感じました。

* たいちさん（朗天狗）のお話はいかがでしたか？

たいちさんの話術にみんなひきこまれていたように感じましたが、たいちさんの亡くなられたおばあちゃんに対する優しい想いが胸にジーンと響くお話でした。おばあちゃんはいつも笑顔いっぱいその笑顔からたくさんの方が元気をもらっていたんでしょうね。また、「ありがとう」という言葉は大切に素敵な言葉です。私もいつもそう感じています。

昨年子ども達（3、4、5歳児）に絵本を読んでもらったり、たいちさんのお話を聞かせてもらったりしていますが、必ず最後に「たいちの絵本を聞いてくれて、見てくれて、ここにいてくれてありがとう。今日は本当にありがとう。」と言われます。私はたいちさんに出会って「感謝表現がとても素敵な方だな」といつも思います。子ども達もたいちさんが大好きです。その時、その場の雰囲気とか子ども達の様子を見て、読む絵本を選んでみえますが、本当にその場にいると楽しいです。一冊、二冊、三冊・・・と読まれるのですが、絵本の世界に引き込まれていくのを感じます。たいちさんも子ども達も笑顔がいっぱいです。子ども達にとっても私達大人にとっても、とてもいい時間だと思います。大人と子どもが目と目を合わせてほほえみ合える「大人・子ども関係」を創っていきたいと思います。ご家庭でも笑顔の種をいっぱい蒔いてみませんか？子ども達も私達もいい方に出会えてよかったですと思います。たいちさん、ありがとうございました。

* 鈴峰中学二年生の職場体験

鈴峰中学二年生の生徒5名が「職場体験学習」として6月2、3、4日の三日間ながさわ保育園に来てくれます。子どもと一緒に遊んだり、掃除をしたり、紙芝居を読んでもらったりと色々なことを実体験してもらおうと思っています。いろんな人が保育園に来てくれることはとてもありがたいことだと思いますし、いろんな世代の違う人と関わりを持つことは人間関係のトレーニングになるので子ども達にとっても大人にとってもいいことだと思います。お互いにいい刺激になるといいなあと思います。三日間、よろしくお祈りします。